

生活基盤施設耐震化等事業計画

平成27年6月19日

計画の名称	島根県知夫村の水道事業基盤の強化推進													
計画の期間	平成27年度 ～ 平成28年度 (2年間)			交付対象	知夫村									
計画の目標	知夫簡易水道における老朽化した施設の更新を行い、地域に安全で安定した水道水の供給を図ることを目標とする。													
計画の成果目標 (定量的指標)	知夫簡易水道における老朽化した送水・配水施設の更新改良による経年化率の減少 (平成27年度当初: 25%→平成28年度末: 0%)													
定量的指標の定義及び算定式	経年化率(%) : 法定耐用年数を超えた送水・配水施設数/総送水・配水施設数			定量的指標の現況値及び目標値			備考							
				当初現況値 (H27年度当初)	中間目標値	最終目標値 (H28年度末)								
				25.0%		0.0%								
全体事業費 (A+B+C)	60,764千円	A	60,764千円	B	千円	C	千円							
全体交付額 (A+B+C)	28,682千円	A	28,682千円	B	千円	C	千円							
交付対象事業														
A 水道施設等耐震化事業														
番号	事業種別	地域種別	事業主体	事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (千円)	全体交付額 (千円)	備考
							H27	H28	H29	H30	H31			
	簡水	離島	知夫村	知夫簡易水道基幹改良事業	送水施設及び配水施設の更新改良	知夫村						60,764	28,682	
合計											60,764	28,682		
B 水道事業運営基盤強化推進等事業														
番号	事業種別	地域種別	事業主体	事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (千円)	全体交付額 (千円)	備考
合計														
C 官民連携等基盤強化支援事業														
番号	事業種別	地域種別	事業者	事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (千円)	全体交付額 (千円)	備考
合計														

生活基盤施設耐震化等交付金チェックシート

都道府県：島根県

計画の名称	島根県知夫村の水道事業基盤の強化推進	交付事業区分	水道施設耐震化事業 簡易水道施設等 生活基盤近代化事業(基幹改良)
事業主体	知夫村	事業箇所	知夫村郡及び古海地内
	項目	チェック欄	考察欄
I 目標の妥当性			
①上位計画等との整合性		○	第5次知夫村総合振興計画に位置付けがあり整合性がある。
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画ので目標の整合)		○	古海(うるみ)配水池は、竣工後58年が経過し老朽化が激しく機能が低下しており更新を行う。郡浄水場の送水ポンプ(エンジン付陸用ポンプ)は、老朽化により故障しており非常時の対応が出来ないため自家発電機を整備し、緊急時に対応可能とする。両施設の更新改良により安全で安定した水道水の供給が図られる。
II 計画の効果・効率性			
①事業計画の目標と定量的指標の整合性		○	事業計画の目標に基づき定量的指標を決定しているため整合性がある。
②定量的指標の明瞭性		○	定量的指標は、明瞭な算定式より算定されるため、明瞭性がある。
③目標と事業内容の整合性		○	老朽化により機能や耐震性を損なっている施設の更新改良なので、事業内容との整合性がある。
④事業の効果の見込みの妥当性		○	事業の効果は、目標値より確認ができ水道施設の近代化が図られるため妥当性がある。
III 計画の実現可能性			
①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等)		○	古海配水池:配水池用地は取得に向け交渉中である。 郡浄水場:既設浄水場内の作業であるため事業執行上問題はなし。
②地元の機運(当該事業に係る要望等)		○	安全で安定した水道水の供給が望まれており、早期完成が求められている。